

夢のあるまちづくりを市民の皆さまと

議会だより

声のかけ橋

第76号

令和4年5月1日発行
豊後大野市議会

10人の議員が市政を問う

9

事務事業評価、執行部の回答は…

20

キラリひと言

24



朝地小中学校入学式



令和4年第1回定例会

(会期 2月21日～3月17日)

2

月21日から第1回定例会が開かれました。

今定例会では、承認1件、32議案が上程され、慎重に審議を行い、それぞれ可決しました。

また、最終日には意見書1件、市議会会議規則の一部改正と市議会委員会条例の一部改正をそれぞれ1件、決議1件を可決しました。

3月1日から3日間にわたりに行われた一般質問には、10人の議員が登壇し、執行部と活発な論戦を展開しました。

(9～19ページ参照)

令和3年度一般会計補正予算(第12・13号)

6億1980万円



《一般会計予算総額》

300億6589万7千円

補正予算の一部を紹介

住民税非課税世帯等に対する 臨時特別給付金事業

6億4501万5千円

令和3年度住民税非課税世帯等に対して、1世帯当たり10万円を給付する。

新型コロナウイルスワクチン予防接種事業

1576万5千円追加

新型コロナウイルスワクチン3回目接種の接種期間の前倒しに伴う委託料の増額。

小中学校 ICT 環境整備事業

3630万円追加

タブレット端末を活用できるよう、小中学校の通信ネットワーク接続可能なエリアの拡充を図る。

中学校施設維持管理事業

377万円追加

資材費高騰に伴う朝地小中学校職員室増築工事請負費の増額。

地籍調査事業

1億3600万円追加

災害想定区域のある緊急性の高い区域を前倒して調査する。

都市計画総務事業

2000万円追加

大規模盛土調査を前倒して実施する。

公の施設の指定管理者の指定

関係人口交流拠点施設の指定管理者を指定

豊後大野市関係人口交流拠点施設の指定管理者を指定することについて、豊後大野市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例第4条の規定により「合同会社豊後大野まちむすび」を指定管理者として指定するものです。



豊後大野市関係人口交流拠点施設
(C O C O M I O)

1 指定管理者となる団体

所在地：大野町矢田1054番地

名称：合同会社 豊後大野まちむすび

2 指定の期間

令和4年4月1日～令和7年3月31日

豊後大野市祖母山麓尾平青少年旅行村条例の一部改正



ゲストハウスLAMP豊後大野（緒方町）

新型コロナウイルス感染症の感染対策に対応した取り組みを実施するため、宿泊施設の一部を改装し、当該施設の利用料金を改定するものです。

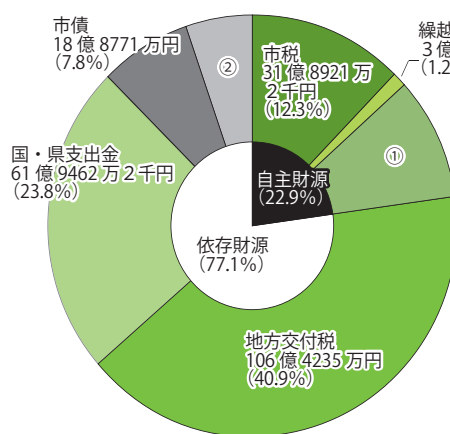
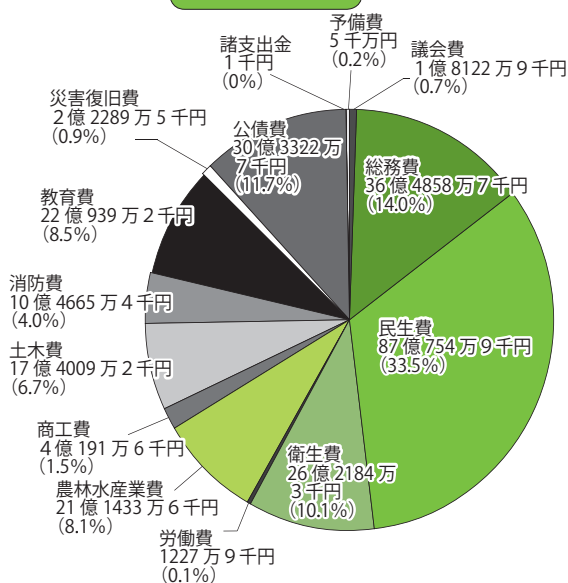
令和4年度一般会計予算 259億9000万円

令和4年度の一般会計予算総額は、前年度当初予算額と比較して、5.0%減の259億9000万円です。

歳出

《一般会計予算の内訳》

歳入



①その他自主財源
24億5369万9千円 (9.4%)
【内訳】
◆分担金及び負担金
3億6080万2千円 (1.4%)
◆使用料及び手数料
4億4110万2千円 (1.7%)
◆財産収入
3382万1千円 (0.1%)
◆寄付金
2億4110万1千円 (0.9%)
◆繰入金
11億8871万1千円 (4.6%)
◆諸収入
1億8816万2千円 (0.7%)
②その他依存財源
13億2240万7千円 (5.1%)
【内訳】
◆地方譲与税
4億1795万3千円 (1.6%)
◆地方交付金
9億445万4千円 (3.5%)

合計 259億9000万円

合計 259億9000万円

《各会計の予算状況》

会計名		令和4年度	令和3年度	増減額		増減率
特別会計	国民健康保険	47億7360万8千円	47億6113万9千円	1246万9千円	増	0.3%
	後期高齢者医療	6億8670万円	5億9554万8千円	9115万2千円	増	15.3%
	介護保険	66億8791万3千円	66億3396万3千円	5395万円	増	0.8%
	農業集落排水	1億9074万1千円	1億9900万9千円	826万8千円	減	4.2%
	浄化槽施設	4390万3千円	4255万3千円	135万円	増	3.2%

会計名		令和4年度	令和3年度	増減額		増減率
電気事業	収益的収入	1億800万2千円	1億910万2千円	110万円	減	1.0%
	収益的支出	8090万3千円	8744万8千円	654万5千円	減	7.5%
	資本的収入	1千円	1千円	—	—	—
	資本的支出	530万1千円	530万1千円	—	—	—
水道事業	収益的収入	5億4579万6千円	5億4538万1千円	41万5千円	増	0.1%
	収益的支出	5億7312万3千円	5億8071万3千円	759万円	減	1.3%
	資本的収入	1億4546万4千円	1億999万7千円	3546万7千円	増	32.2%
	資本的支出	3億4552万8千円	3億5756万6千円	1203万8千円	減	3.4%
公共下水道事業	収益的収入	8445万3千円	9819万円	1373万7千円	減	14.0%
	収益的支出	7884万3千円	9428万4千円	1544万1千円	減	16.4%
	資本的収入	631万5千円	1080万9千円	449万4千円	減	41.6%
	資本的支出	3174万円	3873万5千円	699万5千円	減	18.1%
病院事業	収益的収入	38億3941万円	36億9295万6千円	1億4645万4千円	増	4.0%
	収益的支出	39億2746万円	37億9053万8千円	1億3692万2千円	増	3.6%
	資本的収入	2億4490万4千円	1億2100万4千円	1億2390万円	増	102.4%
	資本的支出	4億7883万1千円	3億5268万円	1億2615万1千円	増	35.8%

構成比は、表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計が一致しない箇所があります。

令和4年度の事業の一部を紹介します

ふるさと応援寄附金事業

2億 7060 万 2 千円



ふるさと応援寄附金の募集、返礼品送付及び企業版ふるさと納税の募集を行う。

庁舎等整備事業

4000 万円



犬飼公民会

犬飼公民館の外構工事を行う。

参議院議員選挙通常選挙事業

2736 万 8 千円



任期満了に伴い参議院議員通常選挙を執行する。

認定こども園整備事業

2 億 9726 万 5 千円



すがおこども園



いぬかいこども園

認定こども園の施設整備における増改築及び大規模修繕等に要する費用の一部を補助する。

肉用牛担い手確保総合対策事業

1925 万円



将来の独立就農や親元就農を目指す人の施設や繁殖雌牛の整備を総合的に支援する。

全天候型体育施設整備事業

2 億 4240 万円



全天候型体育施設整備予定地（三重町赤嶺）

スポーツ大会や合宿等の誘致を行い、スポーツを通じた地域経済の活性化を図るため、全天候型体育施設を整備する。

総務 常任委員会

委員会審査報告

主な議案の審査経過を報告します

厚生文教 常任委員会

●豊後大野市国民健康保険税条例の一部改正について

医療分、後期高齢者支援分及び介護納付金の課税額の合計で算出する国民健康保険税のうち、医療分にあつては所得割0.5%、世帯別平等割額800円、後期高齢者支援分にあつては、世帯別平等割額600円の引き下げを行うものです。

問 今回は下がったが、2〜3年後には上がるのではないか。

答 令和11年度ぐらゐに保険税の統一が見込まれています。今後は県が毎年度示す標準保険税率等と比較し、保険税の統一を見据えながら、2〜3年のスパンで見直しを行つていきたいと考えています。

【付託議案の審査結果】

議案8件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきとなりました。

●豊後大野市矢田ダム関連地域振興基金条例の廃止について

所期の目的を達成したことに伴い、豊後大野市矢田ダム関連地域振興基金を廃止するものです。

問 基金の残高はどれぐらいあるのか。

答 現在、989万1123円で、それに197円の利息がついており、合計で989万1320円です。

問 廃止する理由は。

答 989万1320円は残額であり、現在進めている市道牛首線の改良事業に充当させていただいています。この金額をすべて充当することで基金残高がゼロになることから、今回、基金条例の廃止をお願いするものです。

●公の施設の指定管理者の指定について（清川在宅介護支援センターほか13施設）

市内の高齢者福祉施設等14施設について、これまで社会福祉法人豊後大野市社会福祉協議会が良好な管理を行つてきたことから、地域の高齢者福祉を増進するため、引き続き当該法人を指定管理者として選定するものです。

問 それぞれの施設の職員数を教えてほしい。

答 清川町の施設が13人、緒方町の施設が8人、朝地町は高齢者福祉施設が14人、児童館が4人、犬飼町については14人となっております。

【付託議案の審査結果】

議案2件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきとなりました。

●公の施設の指定管理者の指定について（豊後大野市大原総合体育館）

指定管理者に管理を行わせる公の施設の名称は豊後大野市大原総合体育館で、指定管理の期間については、令和4年4月1日から令和7年3月31日の3カ年としています。豊後大野市スポーツ振興協会は、合併後の平成18年から当体育館の指定管理を受託しており、適正かつ安定的に管理運営を行つていることから、継続して指定するものです。

問 大型遊具の公園については、豊後大野市スポーツ振興協会と何か関係が生じてくるのか。

答 大原総合公園の芝生管理はスポーツ振興協会が行つていますが、現在、遊具が建設されていますが、完成したら遊具の管理については、芝生広場都市公園として建設課が維持管理を行つていくことになります。

産業建設 常任委員会

●市道路線の認定について

内田横田線は、主要地方道三重弥生線の改良工事による線形変更に伴い、起点の地番を変更して新たに市道として認定し、朝地町の滝ノ上線は、社会資本整備総合交付金事業の新設改良工事計画により整備することに伴い、新たに市道として認定するものです。

問 滝ノ上線は起点になるところの傾斜がきついと思うが、今後の整備はどうなるのか。

答 バイパスの線形で改良するような計画としています。

【付託議案の審査結果】

議案5件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきとなりました。

●豊後大野市祖母山麓尾平青少年旅行村条例の一部改正について

新型コロナウイルス感染症の感染対策に対応した取り組みを実施するため、宿泊施設の一部を改装し、当該施設の利用料金を改定するものです。

問 登山客の希望に沿った内容の変更なのか具体的に教えてほしい。

答 ランプの宿泊施設については、12人用の相部屋が二つ、6人用の相部屋が二つあります。最近ではコロナの影響で、一緒に行動する人数が少なくなっていることと、家族連れやグループが利用される場合、相部屋は気が引けるとか気兼ねなく使いたいという要望が増えていることから、そういう要望に応える形で6人用の相部屋の一つを4人部屋の個室に変えるものです。

公平委員会委員の選任

人事案件

同意

公平委員会委員

あべ かずひこ
▶ 安部 一彦氏

[三重町]

任期 自：令和4年4月1日
至：令和8年3月31日

固定資産評価審査委員会委員の選任

人事案件

同意

固定資産評価審査委員会委員

えもと こうじ
▶ 衛本 浩二氏

[千歳町]

任期 自：令和4年4月1日
至：令和7年3月31日

各議員の議案に対する賛否の状況(令和4年第1回定例会)

※○＝賛成 ×＝反対 退＝退席 欠＝欠席 除＝除斥 衛藤竜哉議員は議長職のため表決権はありません。

会 派 名	議決 年 月 日	議決 結 果	市民クラブ				創生会				黎明会			政友会		緑政会			
議員名 件 名			穴見 眞児	嶺 英治	吉藤 里美	工藤 秀典	佐藤 辰己	赤峰 映洋	後藤 雅克	高野 辰代	田嶋 栄一	原田 健蔵	春野 慶司	佐藤 昭生	沓掛 義範	小野 順一	首藤 正光	川野 優治	川野 辰徳
令和3年度豊後大野市一般会計補正予算（第12号）の専決処分の承認について	2月21日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市個人情報保護条例の一部改正について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市行政改革審議会条例及び豊後大野市行政組織条例の一部改正について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市防災行政無線通信施設条例の廃止について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市国民健康保険税条例の一部改正について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市矢田ダム関連地域振興基金条例の廃止について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市移住定住促進条例の制定について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市交流とにぎわいの拠点施設条例の一部改正について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市祖母山麓尾平青少年旅行村条例の一部改正について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設の指定管理者の指定について（豊後大野市関係人口交流拠点施設）	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×
公の施設の指定管理者の指定について（清川在宅介護支援センターほか13施設）	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設の指定管理者の指定について（豊後大野市大原総合体育館）	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の廃止について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度豊後大野市一般会計補正予算（第13号）	3月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度豊後大野市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	3月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度豊後大野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	3月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度豊後大野市介護保険特別会計補正予算(第3号)	3月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度豊後大野市病院事業特別会計補正予算(第2号)	3月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市一般会計予算	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市国民健康保険特別会計予算	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市後期高齢者医療特別会計予算	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市介護保険特別会計予算	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市農業集落排水特別会計予算	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市浄化槽施設特別会計予算	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市電気事業特別会計予算	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市上水道特別会計予算	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市公共下水道特別会計予算	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市病院事業特別会計予算	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市公平委員会委員の選任について	2月21日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市固定資産評価審査委員会委員の選任について	2月21日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
損害賠償の額の決定及び和解することについて	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
生理用品を消費税軽減税率の対象にすることを求める意見書	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市議会会議規則の一部改正について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市議会委員会条例の一部改正について	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ロシアによるウクライナへの侵略を非難し、ロシア軍の即時撤退を求める決議	3月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

10人の議員が市政を問う

3月1日から3日間にわたり行われた一般質問には10人の議員が登壇し、在宅介護に対する支援、新型コロナワクチン接種状況、定住促進対策など26項目にわたり、執行部と活発な論戦を展開しました。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問と答弁を要約して掲載しております。また、議員の写真下に掲載しているQRコードをスマートフォンで読み取ることで、一般質問の録画中継がご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染症対策でアクリル板を設置して行いました。

一般質問

● 吉藤里美（10ページ）

- ・ 在宅介護に対する支援について
- ・ 豊かな暮らしを実感できるまちづくりについて

● 後藤雅克（11ページ）

- ・ 新型コロナワクチン接種状況について
- ・ 本市のPPP／PFI推進について
- ・ 豊後大野市図書館について

● 高野辰代（12ページ）

- ・ 定住促進対策について
- ・ 地震災害と今後の対応について
- ・ 市民が輝くまちづくり「市民活動ポイント制」について

● 川野辰徳（13ページ）

- ・ 農業施策について
- ・ 三重町東部地区コミュニティセンターの設置について
- ・ 昨年の市長の出張の成果について
- ・ 悪臭問題について

● 工藤秀典（14ページ）

- ・ 「サウナのまち」宣言の進捗状況と今後の取組について
- ・ 定住促進の取組について

● 原田健蔵（15ページ）

- ・ 新型コロナウイルス感染症について
- ・ コロナ禍における令和4年度予算執行について
- ・ JR三重駅前周辺まちづくりについて

● 春野慶司（16ページ）

- ・ 新型コロナ（オミクロン株）への対応について
- ・ ふるさと納税の「返礼品合戦」からの撤退について
- ・ 指定管理者制度について

● 佐藤昭生（17ページ）

- ・ 公用車について
- ・ 「ぶんど大野里の旅公社」について

● 嶺英治（18ページ）

- ・ 集落の水問題の実態把握結果とその対応について
- ・ ジオサイト「蝙蝠の滝」の付加価値を高めるための未来投資について

● 川野優治（19ページ）

- ・ 中学校の部活動の将来について
- ・ 関係人口交流拠点施設について

※ 一般質問＝議員個人が市の行財政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問。一般質問は各定例会で行われ、本市議会の場合、質問時間は答弁も含め1人60分以内の一問一答方式で行っています。

介護手当等の支給で経済的支援を

手当の支給は検討していない



よし ふじ さと み
吉 藤 里 美
市 民 ク ラ ブ



質

令和2年6月1日現在、4人に1人が75歳以上の後期高齢者である。また、高齢者のみの世帯は全世帯数の44・8%にもなり、在宅での老老介護が多いことが想像できる。常に介護を要する在宅者の人数を伺う。

答 高齢者福祉課長

常に介護を要する在宅者は有料老人ホーム等の入居者を含んだ居宅サービス受給者が

質

1658人で、そのうち日常生活のほとんどに介助が必要とされる要介護3以上の方は576人となっている。介護手当などの経済的支援は。

答 高齢者福祉課長

現在「緊急通報装置サービス事業」、「配食サービス事業」、「居宅介護用品券交付事業」、「在宅高齢者住宅改造助成事業」、「低所得高齢者等住まい・生活支援事業」等の支援策を総合的に実施している。地域でのボランティア活動などとのネットワークを拡充強化していくことが、住み慣れた地域で暮らし続けるために大事なことだと考えているので、介護手当等の現金支給についての検討はしていない。

質

関係人口交流拠点施設やスポーツツーリズム推進のための施設整備を進めているが、同時に地域の支え合いのシステムづくりや地域振興協議会などのソ

市長の考える「豊かな暮らし」とは

様々な取り組みを着実に進める



土師振興協議会（大野町）

答 まちづくり推進課長

フト事業の推進など、地域で安心して暮らせるための施策が重要であると思うが、今後どのように進めていくのか。

設計していくことが必要だと考えており、令和3年度も、振興協議会の設立に向けて市内3カ所で話し合いを進めている。地域の皆さんの意見を伺いながら、支援を継続していきたいと考えている。



ご とう まさ かつ
後 藤 雅 克

創 生 会



新型コロナワクチン接種状況は

円滑に接種できるよう取り組む

質

1回目・2回目と3
回目の接種状況は。

答 市民生活課長

2月24日現在、1
回目82・9%、2回
目82・3%、3回目
29・36%と県平均を上
回っている。また、昨
年9月30日までに2
回目接種を終えた約
2万4600名の方に
接種券を送付している。
今後も豊後大野市医
師会と連携を図りなが



3回目が進む
ワクチン接種

ら、希望する全ての市
民の皆さまが円滑に接
種できるよう取り組む。

質

人口減少や新型コロナ
感染症への対応等に
より、国と地方公共団
体の財政状況が厳しさ
を増す中、今後、多く
の公共施設等が老朽化
による更新時期を迎え
る。そこで効率的かつ

PPP/PFIの推進は

課題の検証、スキルアップを図る

質

効果的に良好な公共サ
ービスを提供し、公的
負担の抑制を図るため
※PPP/PFIの導
入促進が求められる。
本市でも、インフラの
整備や維持管理等にお
ける民間能力の活用が
重要と考えるが、これ
までの取り組みと今後
の方針を伺う。

答 財政課長

PFI等の民間活力
導入には、メリット・
デメリットがそれぞれ
存在すると思われるが、
人口減少や厳しい財政
状況が課題の本市では、
導入に向け、検討すべ
き行政手法の一つと考
えている。

全国において、老朽
化した多くの公共施設
の更新が行われる中で、
公的負担を抑制するた
めの有効な手段として、

国もPPP/PFIに
注目しており、国と地
方が一体となり、さら
に推進を図ろうとして
いる。

現時点では、PFI
を活用した具体的な取
組みを予定している
事業はないが、令和7
年度以降は合併特例債
の活用もできなくなる
ことから、導入に向け
た課題等の検証や、職
員の研修会等への参加
によるスキルアップを
図り、官民連携を進め
ていきたい。

その他の質問
・豊後大野市図書館
について

※PPP＝「官」と「民」が連携を図り、公共サービスの提供を行う行政手法。

PFI＝民間の力を活用して、これまで国や地方といった公共機関が受け持ってきたインフラ整備などの事業を実施する手法。

定住促進対策について

今後も移住定住施策を一層促進する



たかの たつよ
高野 辰代

創生会



質

人口減少の中、定住促進のさらなる施策が急務であるが、令和4年度の定住促進の取り組みについて伺う。

答 市長

移住定住施策の動きを一層促進するために「豊後大野市移住定住促進条例」を制定する。また、空き家利活用対策の強化として、空き家改修補助金の子育て世帯加算の追加をはじめ、空き家家財道具

質

処分補助金等の拡充を新たに盛り込み、人口減少に歯止めがかけられるよう取り組みを進める。

千歳小中一貫校新築後の千歳小学校跡地等市有地について、宅地化の考えはないか。

答 市長

現時点で具体的な計画は予定していない。有効活用策としては、対話型市場調査などにより、様々な提案をいただくなどの手法も検討したい。

防災アプリ
@InfoCanal (アットインフォカナル)
のダウンロード方法

次のQRコードを読み込み
インストールしてください。

◆Androidの方
Google Playストア
から



◆iPhoneの方
App Storeから



地震災害と今後の対応について

自主防災組織の設立に努める

質

1月22日未明の地震における市の対応と被害状況について。

答 総務企画統括理事

職員初動マニュアルに基づいて災害対策連絡室を設置した。

住宅被害50件、道路被害1件、水道被害1件、その他があり、人的被害等の重大な被害はなかった。

質

一人暮らしの高齢者への声かけ等、安否確認の仕組みがあると安

心できると考えるが現状は。

答 総務企画統括理事

避難行動要支援者名簿に基づき、避難支援関係者が安否確認を行っていた事例を確認している。

質

南海トラフ地震に備えて夜間の初動訓練も必要ではないか。

答 総務企画統括理事

夜間の発生を想定した図上訓練やマニュアルの再確認をする。

また、防災行政無線で放送した内容を文字で確認できるアプリ「@InfoCanal (アットインフォカナル)」の活用をし、市民の皆さまにも推奨していく。

その他の質問

・市民が輝くまちづくり「市民活動ポイント制」について



かわのたつのり
川野辰徳

無 会 派



質
来年度の新規就農予定者数とその予算額は、

答 市単独での事業は予定していないが、アシストスーツの導入支援について、整備予定台数を増やす考えがある。

農業施策について

収益力向上の推進を図る

答 農業振興課長
新規就農者の見込み数は4組であり、合計予算額2100万円を見込んでいます。

質
昨年は農産物が一般的に安く、農業者は大変苦しい状況だった。苗代等の準備にかかる費用を支援する補助金等の予定は。

答 農業振興課長



アシストスーツを装着して作業する様子

三重町東部地区 コミュニティセンターの設置は

採択までかなりの期間を要する

質
市内最大の世帯数で人口も多い三重町東部地区に、早急にコミュニティセンターを建設すべきでは。

答 まちづくり推進課長
令和3年度に三重原区が自治公民館を建設するため、コミュニティセンター助成事業の申請をしているが、採択の順番が来るまでに十数年かかることが予想される。

昨年の市長の 出張の成果について

企業との関係強化に努めている

答 市長
関東・関西・東海地方の企業11社を、市長室の職員1名が随行して訪問し、企業誘致の情報収集や特産品のPRなどを行った。

質
昨年の10月中旬から下旬にかけて企業誘致のため、関東及び関西方面に出張したと聞いているが、その成果は。

答 産業建設統括理事
新たな消臭資材として循環型自然消臭法を市が試験的に導入することになり、本年1月から実証実験を開始している。

今後においては、循環型自然消臭法の試験的導入の結果を踏まえ、臭気の改善に向けた取り組みを進める。

質
コロナの影響で代表者会議等の開催がない状況になっているが、経過は。

悪臭問題について

臭気の改善に向けた取り組みを進める

「サウナのまち」宣言の進捗状況と今後の取り組みについて

経済の活性化につなげていきたい



く どう ひて のり
工 藤 秀 典

市 民 ク ラ ブ



質

昨年の7月に「サウナのまち」宣言をして7カ月が経過した。その後の反響とどのような取り組みをしてきたのかを伺う。

答 市長

宣言後には「サウナのまち」の認知度向上を図るため、市内外の路線を走るバスにラッピングをしてPRした。また、市内の飲食店等と連携して、「サウナ飯」を紹介するパンフレットを作成し、各施設に配布することと

している。

さらに1月11日には「大野郡森林組合」と「おんせん県いいサウナ研究所」が本市の仲介により、伐採木の有効活用に関する連携協定を締結した。

このような取り組みは、テレビや雑誌等のメディアで数多く取り上げていただいております。「サウナのまち」としての認知度は向上していると考えています。

また令和2年度に834人であったアウトドア・サウナの利用者が、令和3年度は1月末現在で3434人と、すでに昨年度の4倍以上になっている。

客層としては、20代、30代といった若い世代が中心で、遠方からの利用者も多く、新たな観光客層の獲得や、日帰り観光から宿泊を伴う滞在型の観光につな

がるなど、地域経済への波及効果が表れてきている。

今後はアウトドア・サウナを観光資源の一つとして、さらなる利用者の拡大と市内の周遊を促進し、観光消費額の増加や経済の活性化につなげていきたい

と考えている。

そのための関連予算を確保し、サウナ利用者に宿泊割引チケットやサウナクーポンを発行する。

また、飲食店や小売店等の関係事業者の拡大を図るため、PR用パンフレットの作成や

サウナ土産用デザインの作成、さらに新規事業者に対し、サウナ購入費の補助を予定している。

その他の質問
・定住促進の取組について



サウナ小屋



サウナ飯

ゲストハウス LAMP 豊後大野（緒方町）



はら だ けん ぞう
原 田 健 蔵

黎 明 会



コロナ禍における 救急体制について

適切な対応に努める

質

救急車の適正利用のための相談体制について伺う。

答 消防長

令和2年3月3日に県内初の新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生したことから、119番通報受信時の専用チェックシートを作成し、通報者への適正な対応及び救急隊員の感染対策に役立てている。

具体的には、まず傷病者の症状や、陽性者との接触状況などにつ

質

救急搬送困難事案は発生していないのか。

いて聞き取りを行い、感染が疑われ緊急性がある場合は、感染対策を行い出動する。感染が疑われるが緊急性がない場合は、通報者本人から豊肥保健所に連絡をしていたいただき、保健所の指示を仰ぐようアドバイスをしている。

答 消防長

当消防本部管内では感染拡大の初期段階に、発熱の傷病者の受け入れができず、現場到着から病院到着まで2時間以上かかった事案が1件発生したのみとなっている。



豊後大野市消防本部・消防署

令和4年度事業として関係人口増の 取り組みについて

都市と豊後大野をつなぐ
プラットフォーム構築事業を進める

質

人口減少と少子化対策への取り組みは。

答 市長

コロナ禍で人々の生活様式や働き方が変化する中、都市圏から地

方へ働く場所や住む場所を求める気運が高まっている。

この機会を捉え、本市では、人口減少や少子化対策につながる新たな施策として、二拠点居住やテレワーク、From豊後大野、ローカルベンチャーの4つのコンテンツを柱とした、都市と豊後大野をつなぐプラットフォーム構築事業に取り組んでいる。

また、関係人口の創出・拡大のための拠点施設として、現在、緒方町の旧歴史民俗資料館を「豊後大野市関係人口交流拠点施設」として再利用できるように整備を進めている。

その他の質問

・JRR三重町駅前周辺まちづくりについて

新型コロナ（オミクロン株）への対応について

感染拡大防止に努めてきた



はるのけいし
春野慶司

黎明会



質

最近の感染経路で特に多いのが家族、次に学校、施設と続いており、居酒屋や飲食店は上位に顔を出していないにも関わらず、時短要請をしている。居酒屋や飲食店だけをターゲットにした対応はやめたらどうか。

答

生活福祉統括理事

県は2月20日をもってまん延防止等重点措置を解除するよう国に要請を行い、3月2日時点では飲食店等に対

ふるさと納税の「返礼品合戦」からの撤退について

地域の活性化を図る役割がある

する時短要請は出されていない。本市としては、県と歩調を合わせ、感染拡大防止に努めてきた。

質

今やネットショッピング化しているとまで酷評されている返礼品合戦から撤退してはいかがか。

ふるさと納税制度は、寄附を受けた自治体は得をするが、その人が住んでいる自治体は損をする。要するに得をする側があれば損をする側がある「ゼロサムゲーム」なのだから。

答 市長

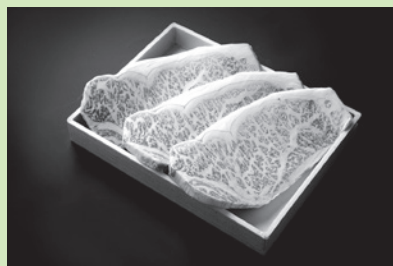
ふるさと納税制度は、「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」、「自分の意思で納税先を選べる制度」として創設された。

これまでの寄附金額の実績としては、平成28年度に4300万円であったものが、令和2年度には2億7400万円となった。

ふるさと納税の返礼品（一部）



干し椎茸



豊後牛

ご指摘の内容については、以前から国会や新聞報道においても制度のあり方について議論されてきており、返礼品を競い合うのは、ふるさと納税の本来の趣旨とは違うということで返礼品競争を危惧する声は強まっている。

一方で、返礼品には地域資源を活用し、地域の活性化を図る役割があることも事実である。制度を活用し、活力あるまちづくりに役立てるよう今後も取り組んでいくので、ご理解をいただきたい。



さとう あき お
佐藤 昭 生

黎明会



市が管理する公用車

質

車検・点検は、市内の整備工場等に偏りがなく発注されているか。また、安全運転管理者について伺う。

答 総務企画統括理事

車検等の依頼先については、物品製造等の競争入札参加資格審査申請があつた市内業者に偏りがなく、財政課で指定している。また、令和3年度は、公用車を5台以上使用する本庁舎の総務統括理事及び緒方支所、大

市管理の公用車について

安全運転管理者を選任し、交通事故防止等に努めている

野支所、犬飼支所の各支所長を安全運転管理者に選任している。本市の安全運転管理者は、業務用車両の安全な運転の確保と効率

的な使用を図るため、車両の使用規制、鍵の保管、運転日誌の整備、運行計画、運転者の健康管理等の業務を行っている。

質

「里の旅公社」の位置づけと現在の状況、今後の役割と方向性について伺う。

答 商工観光課長

地域資源を有機的に結びつけ、観光資源を観光商品として造成し、観光ツーリズムを展開する組織としての役割を果たしていくこと、来訪者が立ち寄りやす

「ぶんど大野里の旅公社」について

情報の共有や連携を図る

質

以前、市長は観光事業を市の直営にシフトしていきたい旨の発言をしている。その後、1年半経過して、観光事業に対し市役所内で機構改革等を含め、取り組んできたことはあるか。

答 市長

関係人口を増やす中で、今後はスポーツツーリズムが観光事業の大きな要素になる。官民一体となった組織として「スポーツコミッション」設立の取り組みを進めており、合宿の誘致などを行いながら、観光にも結びつけていきたいと考えている。

集落の水問題の実態把握結果と その対応について

補助対象や補助率等の見直しを
検討し、対応していきたい

答 産業建設統括理事
163の行政区で調査の結果、三重町64件、清川町5件、緒方町16件、朝地町46件、大野町9件の合計140件から回答が得られた。管理形態については、組合や共同のもの、個人などがあり、このうち、井戸ボーリングや水源、配水槽など施設の改修についての補助事業要望が76件であった。

質
実態把握調査の結果は。



みね 嶺 英 治
市 民 ク ラ ブ



質
結果を受けて豊後大野市の今後の対応は。

答 産業建設統括理事
県補助事業の適用に向け積極的に対応していく。

県の補助事業の適用が困難であったり、対象外となる地区については、市の補助事業である「飲料用水施設改善補助事業」について、県の補助事業や他市の補助内容を踏まえるとともに、給水地域との負担の均衡等を考慮しながら、補助対象や補助率、事業費の上限等の見直しを検討の上、対応していきたい。

ジオサイト「^{こうもり}蝙蝠の滝」の付加価値を高めるための 未来投資について

道路整備に早急に取り組む



蝙蝠の滝

質
観光資源としての「蝙蝠の滝」の位置づけは。

答 商工観光課長
令和元年度に新たなジオサイトとして認定され、自然の眺めも素晴らしい、人々の歴史も色濃く残され、貴重な観光資源として位置づけている。

質
「蝙蝠の滝」の未来への投資は。

答 商工観光課長
緒方町側、朝地町側双方に行き来ができるルートの開発等については、安全面など難しい問題があることから、まずは当面の課題となっている道路整備に早急に取り組んでいく。



かわのゆうじ
川野優治

緑政会



中学校の部活動の将来は

持続可能な部活動運営を目指す

質

文部科学省の中央教育審議会の答申により、中学校の部活動の担い手を学校から地域に移行する動きが進んでいるが、市の教育委員会としては、どのような考えか。

答 学校教育課長

働き方改革という側面から部活動を見ると、顧問の教師は土、日を含めた長時間労働となることや専門外の部活動を持つ状況では、専門

的な指導ができないという課題がある。

また、生徒の側面からは、十分な時間の確保や専門的な指導といった環境を望みにく

いという課題がある。一方、文部科学省では、生徒にとって望ましい部活動の環境を構築する観点から、部活動の適正化を推進している。

他方、学校の働き方改革は喫緊の課題であり、中央教育審議会の答申などにおいて、部活動を学校単位から地域単位の取り組みとすることが指摘されている。

質

朝地小中学校における取り組みは。

答 学校教育課長

令和3年度から、大分県教育委員会の「学校部活動改革サポート事業」の実践研究地域としての指定を受け、朝地小中学校において、総合型地域スポーツクラブである「朝地フレンドクラブ」との連携による実践研究を行っている。

この中では、組織間で協議を重ね、徐々に地域部活動の姿が明らかになりつつあり、地域の指導者による専門的な指導が受けられる日が増えることで、子どもたちの意欲の喚起や技術の向上が見られるとともに、教職員の働き方改革への一助となっている。

特にサッカーのプロ選手と交流する事業は、子どもたちの運動への興味関心を高める機会となった。

来年度に向けては、指導者の確保をはじめ、子どもたちの運動機会を保障する取り組みを進めていく。

その他の質問

・関係人口交流拠点施設について



朝地フレンドクラブの活動

事務事業評価

執行部の回答は・・・

令和3年9月定例会において各常任委員会で事務事業評価を行い、評価報告書を執行部へ渡し、改善策や次年度の予算への反映状況などを報告するように求めています。

今回、評価報告書に対する回答が執行部からありましたのでご紹介します。なお、評価報告書の詳細は議会だより声のかけ橋第74号に掲載しています。

評価報告書の概要

厚生文教常任委員会

【調査事業】

男女共同参画社会

【調査事業】

啓発事業

【事業結果の評価】

おおむね適正

【今後の方向性】

継続

総務常任委員会

【調査事業】

ケーブルテレビ

【調査事業】

管理事業

【事業結果の評価】

良好

【今後の方向性】

継続

産業建設常任委員会

【調査事業】

森林経営管理事業

【事業結果の評価】

おおむね適正

【今後の方向性】

継続

【調査事業】

飲料用水施設改善

【調査事業】

補助事業

【事業結果の評価】

おおむね適正

【今後の方向性】

拡充

【調査事業】

朝倉文夫記念館

【調査事業】

自主事業

【事業結果の評価】

良好

【今後の方向性】

継続

【調査事業】

ジオプロジェクト

【調査事業】

推進事業

【事業結果の評価】

おおむね適正

【今後の方向性】

継続

【調査事業】

朝倉文夫記念館

公園管理事業

【事業結果の評価】

良好

【今後の方向性】

改善

厚生文教常任委員会

【事業名】

男女共同参画社会

啓発事業

【回答（抜粋）】

ケーブルテレビで

の講演会の放映につい

ては、講演内容の録画

を認めない講師が多

い、講演の録画・録音、

放送、講演資料の扱い

について著作権法上の

制約がある、放送用の

動画作成・編集費用に

関して別途費用が発生

する場合がある等の理

由から、現時点での実

施は難しいと考えてい

ます。今後、講師選定

の際に個別に放送の可

否等について検討して

いきます。

I C Tを利用した学

校での啓発活動につい

ては、国等が作成した

男女共同参画に関する

啓発資料やオンライン

講座等の開催情報等を

提供し授業等で活用し

てもらいます。

今後市報、ケーブ

ルテレビ、ホームページ、

男女共同参画だより

「ハーモニー」等の

媒体を利用して、固定

的性別役割分担意識の

解消等に向けた市民啓

発に取り組むとともに

に、国や公的機関等が

発信する啓発情報の提

供に取り組んでいきま

す。

【事業名】

飲料用水施設改善

補助事業

【回答（抜粋）】

補助率の3分の1

から2分の1への引き

上げについては、要件

や補助率の妥当性を検

証するとともに、県補

助事業と本事業との兼

ね合いを考慮する中

で、事業規模や緊急性

などの対応も含めて検

討します。

本事業の上下水道

課での実施について

は、新たに一般会計を

起こさなければ対応す

ることができないた

め、環境衛生課にて継

続して事業実施する方

向の中で、上下水道課

からの「業務支援」を

受けながら推進してい

くこととしたいと思います。



総務常任委員会

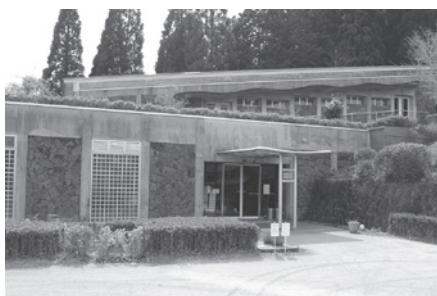
【事業名】

ケーブルテレビ管理
事業

【回答（抜粋）】

ケーブルテレビの運営方法を見直す場合、そのサービス内容が公共的なものか民間で可能なものか、費用軽減できるかの観点、住民サービスの低下防止を踏まえながら、仕分けを行わなければなりません。その中で、民間に移行できるものは民間と協議を行い、公共サービスとして必要なものは継続して市で運営をしていく必要があると考えます。

議会には、情報が集まり整理し、方向性等が定まりましたらご説明をさせていただきますと考えています。



【事業名】

朝倉文夫記念館
自主事業

【回答（抜粋）】

「広範囲に個展の開催」に関しては昨年度から開始した地元作家による「二人展」を今後実施する形を核として取り組みます。

また、「各種イベントの実施」については、地域の関連団体と意見交換を行いながら、協力体制を形成する中で実施を目指します。



【事業名】

朝倉文夫記念公園
事業

【回答（抜粋）】

「サポーターの充実や学生との協働による公園管理、イベントづくり」については、記念館の「ファンクラブ」、「旧朝地まちづくり協議会有志」等と意見交換しながら、公園等の管理について、これまで以上の協力体制をつくります。

産業建設常任委員会

【事業名】

森林経営管理事業

【回答（抜粋）】

令和6年度から市民に対して課税されることとなっている森林環境税の周知については、課税方法が市町村民税に上乗せして徴収されることとなっているため、周知内容、周知方法、周知時期等について、本市税務課と協議を行っていきます。

事業予算の使い方にについては、関係機関の意見を取り入れるとともに、森林経営管理制度の目的である森林整備、人材育成・担い手支援、木材利用の促進等に関する予算編成を行っていきます。

【事業名】

ジオプロジェクト
推進事業

【回答（抜粋）】

ジオパーク活動が市民全体の取り組みとなるように、これまで市民に対して市民講座の開催やケーブルテレビを活用した普及、啓発活動を実施してきました。その結果、市民が地域の成り立ちや地域資源に対して関心を持ち、その活用意識が高まってきているものと感じています。が、引き続き市民全体の活動となるように創意、工夫を凝らした事業を実施していきたいと考えています。

今後もジオパーク活動による持続可能なまちづくりを推進するために、教育活動では、学校教育活動で「郷土



第10回議会報告会での意見 に対しての執行部見解



11月に開催した第10回議会報告会の中でいただいた意見のうち、執行部の見解が必要なものは、書面での回答を求めています。今回、その回答が提出されましたので、内容の一部を要約してご紹介します。出された見解や取り組みの推移などは、議会として今後も注視していきます。

※出された見解はホームページにも掲載しています。

要望1 有害鳥獣による農作物被害のひどさを議会も執行部も認識して、強力な対策を講じてほしい。

要望1に対する回答

本市では、鳥獣被害の厳しい現状を踏まえ、「捕獲対策」「被害防止対策」「集落環境対策」を柱に取り組みを進めているところです。

まず「捕獲対策」では、市猟友会の協力の下、シカやイノシシなどの捕獲に対し補助するとともに、市鳥獣被害対策協議会が狩猟免許取得者へ初心者講習会費用に対し、補助を行っています。

また「被害防止対策」では、電気柵や防護柵などの設置に対し補助を行っています。

そして「集落環境対策」では、生ごみを畑に放置しないなどの対策を市ホームページに掲載し、鳥獣が住みにくい集落づくりを推進しています。



要望2 支障木や空き家の庭木は市道や県道で交通の妨げになっている。これを伐採できるように、全国に先駆けて条例などを定めてほしい。

要望2に対する回答

支障木の伐採については、基本的に所有者の方が処理するべきものと考えており、市ホームページにおいて道路上に張り出している樹木の伐採をお願いしています。

また、令和元年度に地域交通の安全確保を図ることを目的として、市道の支障木伐採に係る経費を補助する制度を創設し、自治会の協力を得ながら支障木の処理を進めているところです。

民法第233条の「竹木の枝の切除及び根の切取り」については、昨年4月に改正され、越境された側での切除が可能なルールが導入されていますので、今後、法が施行されましたら、法の趣旨に則り適切に対応していきたいと考えています。



豊後大野市プロモーション動画試写会を開催



試写会の様子

2月7日に総務常任委員会で豊後大野市プロモーション動画及び紹介動画の試写会を開催しました。動画では本市の大自然や名所、特産物などがふんだんに紹介され、大変魅力のある映像になっていました。

この動画は本市のHP等から豊後大野市公式YouTubeで視聴することができます。

動画サイトの
QRコード



議会日誌

1 月

- 5 日(火) 議会広報編集特別委員会
- 6 日(木) 議会広報編集特別委員会
- 13 日(木) 議会広報編集特別委員会
- 21 日(金) 議会活性化委員会

2 月

- 2 日(火) 委員長会議
- 7 日(月) 全員協議会
- 14 日(月) 議会運営委員会
- 15 日(火) 議会活性化委員会
- 18 日(金) 議会運営委員会
- 21 日(月) 第1回定例会開会（議案上程）
議会広報編集特別委員会

3 月

- 1 日(火) 本会議（一般質問）
- 2 日(火) 本会議（一般質問）
- 3 日(木) 本会議（一般質問）
- 7 日(月) 本会議（議案質疑）
- 8 日(火) 常任委員会
（総務・厚生文教・産業建設）
- 10 日(木) 予算特別委員会（特別会計）
議会運営委員会
- 11 日(金) 予算特別委員会（一般会計）
- 14 日(月) 予算特別委員会（一般会計）
- 17 日(木) 本会議（閉会）
議会運営委員会
議会活性化委員会

市や議会に対する

市民皆さまの思いを紹介



GONちゃん、大活躍！

学校では今、タブレット（通称GONちゃん）を使った学習をしています。

授業でよく使うのが「ロイロノート」です。英語では「自分のヒーロー」を紹介するために人物の画像を取り入れたり、カードに文字を打ったりしてプレゼンテーションを行いました。図工では紙粘土で自分の好きなキャラクターを作り、そのキャラクターを少しずつ動かしながら写真を撮って、こま撮りアニメーションを作成しました。

また、算数ではデジタル教科書を使っています。教科書をスクリーンショットした画像に自分の考えを書いて先生に提出することができるのでとても便利だと思っています。隙間時間には、スマイルネクストのドリルを使って復習にも取り組みました。答えを書くとすぐに○か×かが分かるのでテスト勉強に役立ちました。

これからも GON ちゃんのいろいろな使い方を知り、将来に役立てたいです。



緒方小学校 6 年

いわもと な の こ
岩本 和乃子

地域とともに千歳の未来を切り拓く



千歳中学校 3 年

ととき ま や
十時 真弥

千歳中学校では、地域の方々との交流が盛んです。個人総合の「栽培食文化コース」では、野菜の育て方や味噌の作り方を教えてもらっています。「郷土芸能コース」では、神楽の舞を指導してもらい、文化祭で発表しています。また、千歳地区社会福祉協議会と協力し、生徒が描いたイラストを参考に千歳のロゴマークを作成しました。そのほかにも農業体験学習や職場体験学習、体育大会などたくさんの交流の機会があります。

また、社会科の授業の中で、地域で活動しているまちづくり千歳の方々を招き、3年生が千歳の将来について提案して話し合う機会も持っています。まちづくり千歳の方々にも、生徒の声を活動の参考にしたいと言っていました。

生徒会活動では、生徒会目標マネジメントシステムをもとに、各専門部が1カ月の反省をし、その反省が改善されるように目標を立てています。体育大会や文化祭なども生徒が主体となって活動しています。これからも全校生徒一人一人が、自分たちの持つ良さ（強み）を出し合いながら仲間と協力し、自分の行動に責任を持って活動していきたいです。

委員長 赤峰 映洋
副委員長 高野 辰代
委員 小野 順一
委員 川野 優治
委員 工藤 秀典
委員 川野 辰徳

広報編集特別委員会

議会を傍聴してみませんか？

次回6月定例会は6月9日に開会予定です。

手続きは、受付で住所と名前を書くだけです。
傍聴の際はマスクの着用をお願いします。

TEL 0974-22-1001
市内無料電話 9-22-1001